

# 平成29年度 難病患者コミュニケーション支援研修会 in 西部 開催要領

## 1. 目的

重症神経難病により、意思の疎通が困難となる患者にとってコミュニケーション支援は不可欠であるが、現段階では、十分とは言えない状況にある。

療養者の様々なコミュニケーション支援ニーズに対応していくためには、支援者がそのニーズを的確に把握し、対応できる技術の向上を図るとともに、支援者が作業療法士等リハビリ専門職の支援を受けやすい体制を確立することが重要である。

このため、個々の支援者のスキルアップと支援者同士が連携できる全県的なネットワークの確立を目指し研修会を開催する。

\*重症神経難病とは、多系統萎縮症、脊髄小脳変性症、パーキンソン病、ALS 等

## 2. 主催等

主催：公益財団法人ヘルスサイエンスセンター島根 しまね難病相談支援センター

共催：益田保健所

## 3. 対象者

県内西部の療養支援に関心のある方（作業療法士、理学療法士、言語聴覚士、訪問看護師、介護支援専門員、ヘルパー、医療保健福祉関係者等）

## 4. 定員

50名

(定員を超えた場合、お断りする場合があります。その際には、しまね難病相談支援センターから連絡しますが、連絡がない場合は、ご参加ください。)

## 5. 日時・場所

平成29年9月22日（金）19：00～21：00

益田地域医療センター医師会病院（別紙地図参考）2階 第1会議室

住所：益田市遠田町1917-2 電話：(0856) 22-3611

## 6. 内容

18:30～19:00 受付

19:00～19:05 開会あいさつ

19:05～20:35 「重度障がい者におけるコミュニケーション支援－支援方法と機器体験－」  
伝の心、レッツチャット、ハーティラダー、視線入力装置、iPad、文字盤など  
(支援の実例も紹介)

講師：島根大学医学部附属病院

主任作業療法士 森脇 繁登 氏

20:35～20:55 意見交換

20:55～21:00 閉会あいさつ